



あたらしい本

第197号 2020. 5. 15 発行 (こども版)



たくさんよんでくださいね!

「まほうのおまめ だいずのたび」 まつもと はるの ぶん え たつみよしこ かんしゅう
松本春野 / 文・絵 辰巳芳子 / 監修

ぶんげいしゅんじゅう
文藝春秋 (えほん 3歳~5歳向き)

とうふ みそ しょうゆ にほんじん しょくたく ささ だいず じきゅうりつ
豆腐、味噌、醤油・・・日本人の食卓を支える大豆。しかし自給率はわずか7%。その
つぶ ま そだ こ ふ おさな こ だいず
100粒を播いて育てる子どもを増やしたい。幼い子どもにも「まほうのおまめ」、大豆の
し おやこ たの まな しょくいく えほん
ことを知ってほしい。親子で楽しく学ぶ食育絵本。

「おばけのジョージとびだしたけいとだま」

ロバート・フライト / さく こみやゆう / やく こうがくしゃ
好学社 (えほん 幼児向き)

い え や ねうら す ひ きんじょ
ホイッティカーさんの家の屋根裏に住んでいるやさしいおばけのジョージ。ある日、近所
けいとだま こま とも
にすむジェイニーが毛糸玉をなくしてしまって困って困っていました。ジョージは、友だちみんな
ちから たす
なで力をあわせて助けてあげようと・・・。

「すずめのまる」

みのわよしたか え ぶん かん
箕輪義隆 / 絵 かんちくたかこ / 文 アリス館 (えほん 小初向き)

げんき おんな こ ちい で あ
まるは、とても元気なすずめの女の子。小さなすずめのくらしにも、出逢いやわかれ、ピ
んチもあります。あなたの近くでくらす鳥、すずめたちの1年をのぞいてみましょう。見返し
ちか とり ねん みかえ
にイラストあり。

「ぼくはおじいちゃんのおにいちゃん」

ほりなおこ さく たなかろくたい え しゃ
堀直子 / 作 田中六大 / 絵 ポプラ社 (よみもの 小初向き)

いえ びょうき
カイトの家にやってきたおじいちゃんは、病気になって、いろいろなことがわからなくな
な じぶん あに な
っていた。カイトのことを、亡くなった自分の兄の名で呼ぶおじいちゃん。そんなおじいちゃ
へんか とまど
んの変化に戸惑うカイトだったが・・・。

「ゆりの木荘の子どもたち」 富安陽子／作 佐竹美保／絵

講談社（よみもの 小中向き）

遠い夏の日の呼び声にこたえ、おばあさんたちは時を超えて、子どもにもどった。いまは老人ホームとして使われている「ゆりの木荘」。住人のひとりが懐かしい手まり歌を歌い始めると、玄関ホールの古時計の針が逆回転し・・・。

「かみさまのベビーシッター」 廣嶋玲子／作 木村いこ／絵

理論社（よみもの 小中、小上向き）

商店街の福引きで幸介が当てたのは「かみさまのたまご」。たまごから生まれたのは、ねこのような、フクロウのような、よくわからない生き物だった。かみさまのお世話係になった幸介の願いごとは、果たしてかなうのか？

「絵でわかる建物の歴史 古代エジプトから現代の超高層ビル、未来の火星基地まで」

エドゥアルド・アルタルリバ ベルタ・バルティ・イ・ミラ／著

エクスタレッジ（社会科 小中、小上向き）

ピラミッド、古代ギリシャの神殿、ハギア・ソフィア大聖堂、桂離宮、サグラダ・ファミリア教会堂、現代の超高層ビル、そして未来の火星基地・・・。建物の歴史をイラストで辿りながら、建築と建築家、建物の仕組みを学べる。

「ぼくと母さんのキャラバン」 柏葉幸子／著 泉雅史／絵

講談社（よみもの 小中、小上向き）

母さんがいなくなった夜、目の前に現れたのは母さんより大きなネズミ！トモは異世界のネズミやクマに言われ、ラクダのキャラバンを引いて「あるもの」を山の展望台まで運ぶことに・・・。ノンストップ「お届け物」ファンタジー。

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用